

**「(仮称)道の駅姫路」基本計画(案)に関する
市民意見(パブリック・コメント)の募集結果について**

1 市民意見(パブリック・コメント)の募集結果

- (1) 意見募集期間 令和3年12月24日(金)～令和4年1月24日(月)
- (2) 意見募集方法 広報ひめじや市のホームページへの掲載のほか、市の機関(道の駅推進室、市政情報センター、各支所、各地域事務所、駅前市役所、各出張所、各サービスセンター(菅野、置塩を除く)、曾左・四郷・八幡各公民館)への資料設置等により意見を募集
- (3) 意見提出状況 45通、95件

2 意見の件数内訳

項目	件数
導入機能・施設について	61
道路・交通について	8
施設配置について	3
整備方針・基本計画全般について	12
その他の意見	11
合計	95

3 意見とそれに対する市の考え方

(1) 導入機能・施設について

番号	提出された市民意見(要旨)	件数	市の考え方
トイレに関するご意見			
1	トイレの数を多くしてほしい。(多目的トイレ含む)	3	トイレの数は、道の駅の整備検討で一般的に採用される設計要領に準拠して算定しています。また、子育て世代の利便性を考慮し、別途、キッズトイレの設置を検討しています。適正数については今後精度を上げて最終的に決定する予定です。
2	多目的トイレの名称は、「誰でもトイレ」とすべき。	1	開業後の施設名称等の具体的な内容については、今後検討していきますが、基本計画では、国土交通省における使用例にならない「バリアフリートイレ」と表記することとします。

3	道の駅のトイレは清潔で、車いすでも使える広いトイレがあり安心して使用できるのが良いところ。トイレの整備について、姫路出身のトイレ博士山本耕平氏にアドバイスをいただいてはどうか。	1	いただいたご意見は、トイレの仕様等の具体的な整備内容について検討していく際に、是非参考にさせていただきます。
飲食・物販に関するご意見			
4	市内には観光バスの団体利用ができるレストランが少ないことから、面積を増やしてはどうか。	1	飲食施設の面積は、道の駅の整備検討の際に一般的に採用される設計要領に準拠して算定しています。
5	レストラン・食堂スペースは、観光客や地域の方の利用に配慮することが重要。家族や20人前後のグループで利用できる個室を数室計画してほしい。	1	いただきましたご意見は、団体のお客様をお迎えする機能を検討していく際の参考にさせていただきます。
6	若者向けのカフェができるとよい。	1	飲食施設は、レストランをはじめとしてテイクアウト専門店、ドライブスルーカフェ等、様々なニーズに沿った施設整備を検討しています。
7	焼き立てのパンの販売店を設置してほしい。	1	
8	とことん味にこだわったジェラートを提供してほしい。	1	また、『基本方針』において「播磨の実力（みりょく）ある産品があふれ、触れることのできる魅力的な場」を掲げており、『導入機能と整備のポイント』では、地場産品の販売所の整備や地元の食材を使ったメニューの提供も検討しています。
9	ご当地グルメ（素麺、アーモンドトースト、出汁につけるたこ焼き、御座候、駅そば等）を提供してほしい。	2	
10	姫路の名産品（皮革、マッチ、播州そろばん、素麺、播州織、綿製品、いちじく、サツマイモ、花卉、ジビエ等）の販売をしてほしい。	3	いただいたアイデアは、今後の管理運営を考えていく際にぜひ参考にさせていただきます。
11	レストランでは、坊勢のさばをアピールしてほしい。	1	
12	物販の農畜水産物直売所と地元特産品販売所は、それぞれ独立した建屋ではなく、同一の建屋とし、エリア分けをするのが良いのではないか。管理運営経費の削減、賑わい感の創出、姫路・播磨の「実力（みりょく）」発信等で効果的な運営ができると考える。	1	建築の検討に際し、管理運営経費と賑わい感の創出、播磨の実力発信のバランスが重要と考えています。具体的な建築の計画については、今後募集する民間事業者の意見も踏まえながら検討していきます。

情報発信に関するご意見			
13	高速道路などの混雑状況を発信してほしい。	1	デジタルサイネージ等を用いたリアルタイムの道路情報を提供していきます。 (『導入機能と整備のポイント』参照)
14	世界文化遺産「国宝姫路城」を大いに宣伝してほしい。	1	姫路市内の観光情報を発信していきます。(『導入機能と整備のポイント』参照)
15	商工会議所・農協・漁協と協力し、姫路の名産品・特産品を宣伝してほしい。	1	姫路の実力を効果的に発信できるよう、関係各所と連携を深めてまいります。
行政機能に関するご意見			
16	道の駅は観光客主体とするべき。道の駅には、市内各地に既にある市の窓口や地域包括支援センターは不要ではないか。市の施設と観光施設を混在しない方がよい。	1	新しい道の駅は、観光客はもちろんですが、地元・周辺住民の方にも愛され、日常的に利用される施設でありたいと考えています。そのため、地元の方の利便性向上につながる機能についても担当課と連携し、検討していきたいと考えています。
体験機能に関するご意見			
17	周辺農家と連携した農業体験について、道の駅に近い私の農区では、水や緑が豊かな田園地域の特性を生かして、芋ほり、田植え、稲刈りなどの農業体験イベントの連携実施を考えている。	1	体験機能については、周辺農家や企業と連携した農業体験や、スマート農業等の体験企画、姫路の特産である皮革のレザークラフト体験などが考えられます。 (『導入機能と整備のポイント』参照) いただきましたご意見は、運営内容に盛り込んでいくかどうか運営業者が決まり次第検討していきます。
18	皮革の展示・販売、レザークラフトの体験等は、経営観念に鋭く心の広い業者に委託するのが良い。	1	
19	道の駅付近に市の施設の設置や、近隣の観光農園等の民間事業者との連携を検討し、天川以西の魅力あるゾーンに誘う計画としてはどうか。	1	
20	子供が農業体験や皮製品製作体験等を通して周辺地域との関わりが持てる施設にしてほしい。	1	
21	営農・就農への一般市民の取り込みを目指し、家族ぐるみで参加できる学習会や修学旅行での体験学習プランを取り込んではどうか。	1	

広域防災拠点機能に関するご意見			
22	これからの道の駅では、「広域防災の機能強化」「地域防災の機能強化」は必須である。「防災倉庫」「自家消費型太陽光発電設備」に加え、「ヘリポートの整備」を強く要望する。	17	広域防災拠点機能については、防災担当課と具体的な機能を調整していく中で、ヘリポートの仕様についても検討していく予定です。
23	災害時の避難場所や、防災拠点機能を持つ第2市役所のような場所にしてはどうか。	1	
こどもの遊び場に関するご意見			
24	こどもの遊び場を作ることは大賛成。できれば年代別に分かれているとよい。	1	こどもの遊び場については、安全に遊ぶことができるよう、いただきましたご意見を参考に引き続き検討していきます。
イベントスペースに関するご意見			
25	屋根付きフリースペースは、平日に市内・県外からの高齢者がグラウンドゴルフ等を行えるように設備を整えてはどうか。一辺の長さは、グラウンドゴルフのホールに合わせて55～60m程度は必要と考える。	1	イベントスペースは、イベント利用だけでなく、様々な活動ができる場を想定していますので、今後の具体的に施設を検討していく際に参考にさせていただきます。
その他提案			
26	姫路ならではの要素（姫路城や周辺の景色、播磨の歴史のPR、安富町の案山子、足湯・温泉卵等）を取り入れてはどうか。	2	導入機能・施設は、ヒアリング調査や他市事例を踏まえて設定しています。具体的な内容については、今後検討していくこととなりますので、いただきましたご意見を参考にさせていただきます。
27	小さくてもドッグランがあるとよい。	2	
28	ファミリーや観光客が行きやすい温泉施設（厳選、運び場、人口炭酸泉、家族風呂など）がほしい。	1	
29	車いすも利用可能な足湯カフェを取り入れてはどうか。	1	
30	体操ができる広い会議室、屋根のある広場、健康づくりに関する遊具、気軽に健康チェックができる器具を設置してほしい。	1	
31	インスタ映えし、話題になるオブジェを置いてはどうか。	1	

32	写真・絵・皮革などの作品を展示するギャラリーがあるとよい。	1	
33	環境保全と再利用の啓発・発信地として、コーヒー豆かすを再利用したエコ肥料の回収・販売や、使用済みカイロによる水の浄化など、SDGsを軸とした活動を取り入れてはどうか。	1	
34	駐車場と建物間に南北を通る水路を計画し、蛍の繁殖や生き物の生息が可能な安らぎの場所にしてはどうか。	1	
35	社会福祉協議会と協力して健康・福祉のコーナーを設置してほしい。	1	
36	教育委員会と協力して学園広場を設立し、修学旅行や遠足の増加を図ってほしい。	1	
37	地域の中学校のグラウンドが狭く、サッカーの部活ができない状態であるので、屋外広場を拡充し、サッカーも楽しめるグラウンドにしてほしい。	1	
38	駐車場に等間隔に植栽し、夏場に日影のある駐車場の計画としてはどうか。	1	
			駐車場は、芝生や樹木など緑を活用したデザインを目指していきたいと考えています。（『導入機能と整備のポイント』参照） いただきましたご意見は今後の参考にさせていただきます。

(2) 道路・交通について

39	候補地付近の交通量の現況調査は行ったのか。	1	本計画では、H27 道路交通センサスの交通量を参照しています。
----	-----------------------	---	---------------------------------

40	車を利用していない人の集客、南北方向のバス路線の運行、市民の利便性向上等をねらいとし、高木橋～道の駅～東スポーツセンター～市川橋～県立はりま姫路総合医療センターを通るバスを運行させてはどうか。	1	本道の駅では、車を利用していない方の来訪手段として路線バスの引き込みが一つの案として考えられます。いただきましたご意見は、今後バス事業者と検討していく際の参考にさせていただきます。
41	市川東部地域や姫路市近隣住民の方々の利用頻度を上げるため、アクリエひめじ付近を発着とする循環コミュニティバスの運行を要望する。JRを利用した観光客の利便性向上や、免許返納をした高齢者の利用も見込めると考える。	1	
42	市道谷外 89 号線からのアクセス道は、近隣の事業所も出入りに利用しており、大型車両との離合が難しいと考える。また、国道 372 号線との交差点が鋭角となっており、道の駅から退出する車両の混雑が予想される。よって、国道 372 号線と市道 89 号線の交差点の形状変更、信号機の設置、市道 89 号線の拡幅を希望する。	1	隣接道路の円滑な交通を確保できるよう、道路管理者(兵庫県)、交通管理者(警察)と協議し、設計に反映させていただきます。
43	花田インターから上原田交差点を右折する車両や、姫路城から立ち寄る車両が多数予想されるが、現状でも渋滞が激しいことから、花田インター、上原田交差点の形状変更を希望する。	1	関係部署と情報共有します。

44	上原田交差点から東に約 500m 付近の位置に出入口が計画されているが、この位置では交通渋滞を助長してしまうのではないかと懸念する。どうしてもこの位置であれば、天川右岸堤防の道路（市道谷外 74 号線）を通過して県道花田御着停車場線に花田インターの南側で接続する道路を設置することが必須であるとする。	1	周辺道路の円滑な交通を確保できるよう、道路管理者（兵庫県）、交通管理者（警察）と協議し、設計に反映させていきます。
45	う回路の拡幅整備をするべきではないか。	1	
46	道の駅整備を機に外環状道路の整備推進を行い、集客を図るべきではないか。	1	関係部署と情報共有します。

(3) 施設配置について

47	ゾーニングのコンセプトに「天川と山並みへの眺望を活かす施設配置」とあるが、周辺の景色の魅力が乏しいため空振りになる恐れがある。	1	道の駅の候補地周辺は、田んぼや山並み、天川などの自然が豊かな場所だと考えています。いただきましたご意見は、検討を進めていく際の参考にさせていただきます。
48	施設配置のイメージにおいて、バックヤード駐車場が南東角にあるのが勿体ない。建物東（天川側）に集約してはどうか。	1	今後募集する民間事業者の意見も踏まえながら施設配置の具体的に検討していく際の参考にさせていただきます。
49	建物南側には、多目的広場と別にスポーツ広場を計画し、危険のないようにしてはどうか。ローンスライディングや水遊び場を連結して設置し、1年間通じて利用できる場所とするのが望ましい。	1	

(4) 整備方針・基本計画全般について

50	基本計画に数式が多く、内容がよくわからない。	1	基本計画に記載している数式は、施設の方向性を検討するための重要な根拠となるため、詳細な計算式が多くなってしまい、見づらくなっており申し訳ありません。結論を前に持ってくるなど、表現を工夫します。
----	------------------------	---	--

51	基本計画の色合いや写真のボケを改善してほしい。	1	冊子全体の色合い、図、写真等を見直します。
52	様々な方から多くの意見が取り入れられており、とても良い計画だと思う。	1	持続可能な道の駅の運営を行っていくためには、様々な方が継続的に利用していただく施設整備が必要と考えております。 市民の皆様には、憩いの場として日常的に利用していただけるような道の駅となるようにしていきたいと考えています。
53	観光客はコロナ等の影響で利用が見込めるか困難なため、市民や近隣の住民の利用を見込んでいる点は良い。	1	
54	空港へ向かうバスの発着点は良いアイデアだと思う。	1	
55	設置場所が山陽道姫路東 IC への進入口から離れた国道沿いを条件としたことで、広域からの利用者数や存在価値が半減し、残念。	1	候補地については、基本構想において、集客性、事業実現性、周辺環境の観点から、複数パターンを検討して選定しました。また、道の駅整備のためには、ある程度まとまった土地も必要となります。基本構想で行ったアンケートでも、来訪時に利用する IC は山陽姫路東 IC が多いものの、花田 IC と合わせて東部の IC の利用が多いことが分かっています。さらに、花田 IC も広域の交通結節点であることから、集客は見込めると考えております。
56	建設予定地の近隣にあるローンを敷地内に入れ、道の駅の営業時間外にも利用できるよう検討してはどうか。	1	いただきましたご意見は、今後運営の検討を進めていく際の参考とさせていただきます。
57	この計画では、10年後以降の安定した集客はあまり期待できないように感じる。姫路には、姫路城をはじめとした観光資源が多くあるが、史跡主体の観光地のため若者や子育て世代にとっては魅力に乏しい。また、観光客の滞在時間も短いため、併設施設が重要と考える。そこで、「姫路市立動物園の移転併設」「ドッグランやペット同伴の飲食店の併設」「グラ	1	同様の課題認識のもと、こどもが楽しめる道の駅という基本方針を定めました。この基本方針を達成するために、何を要求し、何を民間事業者の提案に任せるかにつきましては、今後詳細な検討を予定しています。 いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。 また、姫路市立動物園の移転併設につきましては、関係部署と情報共有します。

	ンピング施設の併設」を提案する。これらは、集客効果が期待できるほか、PFI 事業としての価値も期待できると考える。「観光客の立ち寄り先」ではなく、「道の駅が観光地」となり多くの客で賑わうよう、10年、20年後のことも想定して再考してほしい。		
58	道の駅付近に姫路市立動物園を移転してはどうか。	2	
59	姫路警察署豊国交番が主要道路から離れており、老朽化が進んでいることから、道の駅用地に隣接した場所に移設してはどうか。	1	施設の防犯については、防犯カメラの設置等、防犯・安全性の確保に努めます。豊国交番の老朽化による移設については、関係機関と情報共有します。
60	単に売る側・買う側の場ではなく、人が集うことで、学びやコミュニティの価値を持ち、「通う場」としての道の駅を目指してほしい。「人づくり、つながりづくり」のある道の駅へ！	1	いただきましたご意見は、まさに道の駅姫路のコンセプトである「播磨の実力（みりょく）にあふれ、世代・地域を越えた交流を生み出す道の駅」に込められた思いです。道の駅を通して、ヒト・モノ・カネ・コトの好循環を生み出すことを目指し、今後の検討を進めていきます。

(5) その他の意見

61	天川サイクリングロードを整備し、レンタサイクルで回れるようにしてはどうか。	1	サイクリングの拠点利用については、交通結節機能として、サイクリング、ツーリングの拠点としてのサービスの提供を検討しています。(『導入機能と整備のポイント』参照) いただきましたご意見は、施設計画を決定していく際の参考にさせていただきます。
62	地域の方々と協力し、整備予定地の天川沿いを関西有数の河津桜の名所にしてはどうか。 河津桜と菜の花畑がコラボした美しいスポットを実現してほしい。	1	
63	天川を利用した子供の遊び場や、遊歩道を整備してはどうか。	1	

64	黒田官兵衛にちなみ、整備予定地の片隅に姫路城から移植した藤棚を整備してはどうか。低予算で、道の駅のシンボルになり得ると考える。	1	施設の具体的な運営については、今後募集する民間事業者の意見も踏まえながら検討していきます。
65	姫路周辺にはイルミネーションが見れるところがない。常設でなくとも、夜のイルミネーションを行ってほしい。	1	
66	コロナ対策（換気性能の向上、クリーンエアシャワー、紫外線ランプの設置）も検討してほしい。	1	アフターコロナのニューノーマルへの対応として、ぜひ参考にさせていただきます。
67	高齢者の働く場を提供してほしい。	1	ご高齢の方だけでなく地域全体のご協力が必要だと考えております。いただきましたご意見は運営の参考にさせていただきます。
68	建物の外観は、黒田官兵衛ドラマ館のような、姫路に所縁がありインパクトのあるデザインが良い。	1	建物の意匠については、今後募集する民間事業者の意見も踏まえながら検討していきます。いただきましたご意見は今後の参考にさせていただきます。
69	防犯対策を充分に行ってほしい。	1	駐車場や建物には防犯カメラの設置等、防犯・安全性の確保に努めます。
70	播但道路やセントラルパークなどの周辺施設の割引制度があればぜひ利用したい。	1	いただきましたご意見は、道の駅及び市内主要施設の利用促進とともに魅力的なソフトの提供を検討していく際の参考にさせていただきます。
71	家から遠い。	1	遠方からでも来たいと思っていただけるような魅力的な道の駅にします。

4 意見に基づく修正箇所

意見の番号	旧	新
2	多目的トイレの表記	「バリアフリースイートイレ」に変更した。
50	規模算出の箇所	施設規模の一覧を先に示し、個別規模の考え方と併せ、算出結果を別記した。
51	色合い、写真の改善	色彩を見直し、写真や図を差し替えた。